

平成28年度
第1回
会議次第

尾鷲市地域公共交通活性化協議会

平成28年度第1回尾鷲市地域公共交通活性化協議会

会 議 次 第

日 時：平成28年5月31日（火）
10：00～11：00

場 所：尾鷲市役所 2階 会議室

- 1 開 会
- 2 会長挨拶
- 3 平成27年度決算報告について
- 4 平成29年度尾鷲市地域内フィーダー系統確保維持計画について
- 5 平成28年度補正予算（第1号）について
- 6 その他
- 7 閉会

○平成28年度尾鷲市地域公共交通活性化協議会委員名簿

役職名	氏名	団体名	備考
会長	林 幸喜	尾鷲市副市長	
座長	豊福 裕二	三重大学人文学部教授	
副会長	上村 紀美男	尾鷲市区長会会長	
監事	北村 芳文	尾鷲市自治会連合会副会長	
	上村 隼右	尾鷲市老人クラブ連合会	欠席
委員	<u>宇田 正明</u>	尾鷲市区長会副会長	
	中村 初彦	三重交通株式会社 南紀営業所長	随行有
	<u>中西 義雄</u>	三重県旅客自動車協会 紀北支部長 株式会社クリスタルタクシー尾鷲営業所長	欠席
	野村 秀海	三交南紀交通労働組合副執行委員長	
	加藤 恒昭	国土交通省中部運輸局三重運輸支局 首席運輸企画専門官	
	名古 勉	尾鷲警察署交通課長	
	<u>富永 健太郎</u>	三重県地域連携部交通政策課長	代理（班長代理 野間紀子）
	田中 聡	国土交通省中部地方整備局紀勢国道事務所 尾鷲維持出張所長	
	柘植 武志	三重県尾鷲建設事務所長	代理（保全課 課長 喜多 啓作）

※下線3名は新たに就任した委員

○オブザーバー：三重交通株式会社 自家用営業部 営業部長 久保田 重人

○事務局

尾鷲市市長公室

室長 大和 勝浩

室長補佐 岩本 功

主査 山本 圭蔵

主任主事 濱口 久範

開会：午前10時00分

1 開会

(豊福議長)

定刻となりましたので、ただいまから平成28年度第1回尾鷲市地域公共交通活性化協議会を開会させていただきます。

本日の会議ですが、ただ今の出席者は(12名)であります。規約第8条第1項の規定により、委員の半数以上の出席がありますので、会議が成立していることを報告いたします。申し訳ございませんが、会議の進行上、携帯電話はマナーモード等の設定をお願いします。

まず、始めて就任されました委員の紹介をさせていただきます。

尾鷲市区長会副会長 宇田 正明(うだ まさあき)さま、三重県旅客自動車協会 紀北支部長 株式会社クリスタルタクシー尾鷲営業所長 中西 義雄(なかにし よしお)さま、なお、中西さまは、本日は欠席されております。

三重県地域連携部交通政策課長 富永 健太郎(とみなが けんたろう)さま、本日は野間 紀子(のま のりこ)さまが代理出席していただいております。よろしく申し上げます。

また、本日は三重交通自家用営業部より自家用営業部長の久保田 重人(くぼた しげと)さまがオブザーバーとして出席いただいております。自家用営業部さまはふれあいバスの尾鷲地区と須賀利地区の指定管理を受けていただいておりますので、ご出席をお願いしたところであります。

次に、本日配布している資料につきまして、事務局より連絡があります。

(事務局長 大和室長)

市長公室長の大和と申します。4月の人事異動に伴い、新たに市長公室の配属となり本協議会の事務を担当いたします。よろしく申し上げます。

また、事務局のメンバーとして、室長補佐の岩本と山本と濱口です。よろしく申し上げます。配付資料につきまして、濱口より説明いたします。

(事務局 濱口)

それでは、会議資料の確認をさせていただきます。本日の会議資料といたしましては、「会議次第」、「委員名簿」、「配席図」、「会計監査報告書写し」、「活発で良い議論ができる会議のために」と事前に配布させていただいております「平成27年度尾鷲市地域公共交通活性化協議会 決算報告書」、「平成29年度尾鷲市地域内フィーダー系統確保維持計画」、「平成28年度 尾鷲市地域公共交通活性化協議会 補正予算書(第1号)」となりますので、不足やお忘れの方がございましたら、事務局までお申し付けくださいますようお願いいたします。

2 会長挨拶

(豊福議長)

それでは本日の会議でございますが、会議次第に従いまして進行させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

まずは会議次第の2で、本会長からご挨拶いただきたいと思います。

(会長 林副市长)

みなさんおはようございます。副市長の林でございます。本日はお忙しいところ尾鷲市地域公共交通活性化協議会にお集まりいただきありがとうございます。この協議会では、より多くの市民の皆様にご利用される公共交通を目指していきたいと考えておりますので、みなさんからの様々なご意見やアドバイスを頂きたくよろしくお願い致します。

先程、事務局から会議資料について説明がありましたが、本日は、「平成27年度決算報告」と「平成29年度尾鷲市地域内フィーダー系統確保維持計画」、そして「平成28年度補正予算」につきまして、皆様のご審議よろしくお願い致します。

本日はどうぞよろしくお願い致します。

(豊福議長)

次に、議事に入る前に、配布資料の「活発で良い議論ができる会議のために。」の説明を国土交通省中部運輸局三重運輸支局の加藤さま、よろしくお願い致します。

(三重運輸支局 加藤委員)

説明（2～3分程度資料に沿って説明）

3 平成27年度決算報告について

(豊福議長)

それでは、議事に入っていきたいと思えます。

会議次第の3の、「平成27年度決算報告について」、事務局より説明をお願いします。

(事務局 濱口)

それでは、「平成27年度 尾鷲市地域公共交通活性化協議会 決算」について、説明させていただきます。

お手元の「平成27年度 尾鷲市地域公共交通活性化協議会 決算報告書」をご覧ください。

表紙をめくっていただきまして、まず、歳入でございますが、1款、分担金及び負担金、1項、負担金、1目、負担金につきましては、予算額76万6千円に対しまして、調定額・収入済額ともに、76万6千円となっており、その内訳は、尾鷲市からの負担金であります。

2款、繰越金、1項、繰越金、1目、繰越金につきましては、予算額68万2千円に対しまして、調定額・収入済額ともに68万1,540円となっております。これは、平成26年度の繰越金でございます。

3款、諸収入、1項、預金利子、1目、預金利子につきましては、予算額1千円に対しまして、調定額・収入済額ともに115円でございます。同じく諸収入、2項、雑入、1目、雑入につきましては、予算額1千円に対しまして、収入はございませんでした。

次に歳出でございますが、1款、総務費、1項、総務管理費、1目、会議運営費につきましては、予算額20万9千円に対しまして、支出済額が8万5,960円、節ごとでは、報酬が協議会委員報酬6万6,000円、旅費が協議会委員旅費1万9,960円となっております。同じく総務管理費、2目、事務局費につきましては、予算額2万5千円に対しまして、支出済額が1万3,027円で、節ごとでは役務費が振込手数料等1万327円となっております。

2款、事業費、1項、事業推進費、1目、広報公聴費につきましては、予算額50万4千円に対しまして、支出済額が1万2,560円となっており、これは訂正ラベル購入費及び印刷費でございます。不用額の491,440円ございますが、こちらについては、尾鷲市の公共交通時刻表1万2千部作製にかかる印刷製本費を計上しておりましたが、ふれあいバスにおいて、時刻変更がなかったことから、この不用額となっております。

3款、諸支出金、1項、償還金及び還付加算金、1目、償還金及び還付加算金につきましては、予算額68万2千円に対しまして、支出済額は、68万1,540円となっており、これは、尾鷲市への負担金過年度返還金でございます。

4款、予備費、1項、予備費、1目、予備費につきましては、予算額3万円に対しまして、支出はございませんでした。

この結果、歳入の収入済額144万7,655円から歳出の支出済額79万387円を差し引いた65万7,268円を平成28年度に繰り越すものでございます。

以上で、「平成27年度決算報告について」のご説明を終わります。

(豊福議長)

ただ今、事務局より説明がありました。続いて監事から監査結果の報告をお願いいたします。

(北村監事)

平成27年度尾鷲市地域公共交通活性化協議会の決算書類を監査した結果、いずれも適正に処理されており、相違ないものと認めます。

(豊福議長)

監査の結果は以上のとおりですが、これまでの説明に対して、何かご質問やご意見等がございましたらご発言をいただきたいと存じます。

(質疑なし)

(豊福議長)

無いようですので、それでは、「平成27年度 尾鷲市地域公共交通活性化協議会 決算」についてお諮りさせていただきます。「平成27年度 尾鷲市地域公共交通活性化協議会 決算」、ご承認いただけますか。

「異議なし」

(豊福議長)

ありがとうございます。「平成27年度 尾鷲市地域公共交通活性化協議会 決算」については、原案のとおり承認いたします。

4 平成29年度尾鷲市地域内フィーダー系統確保維持計画について

(豊福議長)

続きまして、4の、「平成29年度尾鷲市地域内フィーダー系統確保維持計画について」事務局より説明をお願いします。

(事務局 濱口)

それでは、平成29年度尾鷲市地域内フィーダー系統確保維持計画についてご説明いたします。

今回ご承認を賜ろうとするこの計画は、平成29年度に国の補助金の交付を受けるために必要なもので、補助対象期間を平成28年10月から平成29年9月までとする計画です。この計画を本協議会においてご承認いただけましたら、6月中に国へ計画認定申請するものであります。

補助金額につきましては、昨年度の平成27年度は875万4千円でした。今年度の平成28年度は、現在686万4千円の内示を受けております。今回ご承認を頂こうとしているこの平成29年度尾鷲市地域内フィーダー系統確保維持計画においては、534万2千円の補助金を申請しようとする計画となっております。

1ページをご覧ください。事前に資料を送付させていただいておりますことから概要の説明とさせていただきます。

1の地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性につきましては、過疎高齢化が進行している本市において市民ニーズに応じた生活交通を確保するためこの事業に取り組むこと、そして現在運行しているふれあいバス「尾鷲地区」「須賀利地区」「八鬼山線」「ハラソ線」の四路線について次の2ページ及び3ページにわたりまして説明しています。

3ページをご覧ください。2の地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果につきましては、アンケートによる利用者満足度について記載しております。

各路線それぞれのふれあいバス利用者に、満足、おおむね満足、普通、やや不満、不満の5段階の評価をしてもらい、満足は+2点、おおむね満足は+1点、普通は0点、やや不満は-1点、不満は-2点として、その平均を満足度としております。数値としましては、表に記載しておりますとおりです。

また、下段の表については、地区センター管内から尾鷲高校への通学確保として、通学者のうち、ふれあいバスを利用している割合を記載しております。数値としましては、表に記載しておりますとおりです。

次に、4ページをご覧ください。3の地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者から、以降については、補助金交付要綱に従って資料を作成しており、経常費用・経常収益や実車走行距離などから補助対象経費の算出などを行っている資料であります。

9ページから11ページには、ふれあいバスの路線図、12ページから15ページには、時刻表、16ページから21ページには既存交通の整合性の資料として、尾鷲市病院前での三重交通南紀特急バスとの接続や、尾鷲駅でのJR列車との接続を示した資料であります。

22ページでは、運送事業者の選定方法・経緯を記載しております。38ページには、平成26年10月から平成27年9月までの実績数値が記載されております。表の下段に収支率とありますが、尾鷲地区は、18.82%、須賀利地区は、2.42%、八鬼山線は、28.73%、ハラソ線は34.56%となっております。

以上が「平成29年度尾鷲市地域内フィーダー系統確保維持計画」の概要についてのご説明となります。

なお、市民の皆さまにとって利便性の高い公共交通の確保を行っていくため、場合によりましては、この計画の変更について、年度途中であっても、随時、協議会を開いてお諮りさせていただく可能性もございますので、市民の皆さまにとってより利便性の高い公共交通を確保維持していくため、その際はご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

(豊福議長)

ただいま、事務局より説明がありましたが、これに関して、何かご質問やご意見等ございましたらご発言をいただきたいと存じます。

(質疑)

(豊福議長)

3ページの市民満足度、須賀利地区が若干落ちている。運賃補助の効果はどのように評価されているのか。

(事務局 濱口)

27年4月1日から1年間、須賀利線で運賃補助を行っている。地方創生交付金を活用した。H26：2189人がH27：2384人となった。そのうち、補助券利用者は1468人、61%の方がこの制度を利用した実績となった。須賀利地区では、市政報告会を行った時に、直通便の要望が強い。そのような課題を1つずつ解決していかなければならないと思っている。

(野村委員)

センター管内から高校への通学確保、段々落ちている。目標値30%は高すぎないか。

(事務局 濱口)

学生数が落ちている。バス利用者の7名中4名が1年生。人口が減少しているので、人数ではなく割合としている。

(野村委員)

ふれあいバスの立ち上げ当初は、部活の時間に合わせた。学生の利用についてPRを行っていく必要がある。

(豊福議長)

他にご意見はありませんか。無いようですので、「平成29年度尾鷲市地域内フィーダー系統確保維持計画について」お諮りさせていただきます。「平成29年度尾鷲市地域内フィーダー系統確保維持計画について」ご承認いただけますか。

「異議なし」

(豊福議長)

ありがとうございます。「平成29年度尾鷲市地域内フィーダー系統確保維持計画について」、原案のとおり承認いたします。

5 平成28年度補正予算について

(豊福議長)

それでは、続きまして5の、「平成28年度補正予算（第1号）」について事務局より説明をお願いします。

(事務局 濱口)

それでは、「平成28年度尾鷲市地域公共交通活性化協議会補正予算書（第1号）」につきましてご説明いたします。

本補正予算につきましては、先程、平成27年度の決算報告でご説明しましたとおり、繰越額の確定に伴うものであります。

「平成28年度尾鷲市地域公共交通活性化協議会補正予算書（第1号）」の1ページをご覧ください。

歳入歳出それぞれ65万7千円増額し、歳入歳出予算の総額を140万6千円とするものであります。

5ページをご覧ください。

まず歳入でございますが、3款、繰越金、1項、繰越金、1目、繰越金65万7千円の増額補正は、繰越額の確定により、65万7千円を増額し、補正後の額を65万8千円とするものであります。

6ページをご覧ください。

次に歳出でございます。

3款、諸支出金、1項、償還金及び還付加算金、1目、償還金及び還付加算金65万7千円の増額補正は、平成27年度決算に伴い、繰越金を尾鷲市に返還するものでございます。

以上が、「平成28年度補正予算（第1号）」についての説明であります。

(豊福議長)

ただ今、事務局より説明がありましたが、何かご質問等がございましたらご発言をいただきたいと存じます。

(質疑)

(豊福議長)

無いようですので、「平成28年度補正予算（第1号）について」お諮りさせていただきます。「平成28年度補正予算（第1号）について」、ご承認いただけますか。

「異議なし」

(豊福議長)

ありがとうございます。よって「平成28年度補正予算（第1号）について」原案のとおり承認いたします。

6 その他

(豊福議長)

それでは、会議次第の6番目の「その他」ですが、まずは、事務局から昨年度の事業評価について、報告があると聞いておりますので、事務局お願いいたします。

(事務局 濱口)

昨年度12月に開催いたしました協議会にて第1次の事業評価をいただきましたが、中部運輸局にて有識者を含む委員の方々に2次評価を行っていただき、その結果が届きましたので、報告させていただきます。配布資料に沿って結果を説明。

(野間委員)

利用促進の取組については、どのように考えているのか。

(事務局 濱口)

市内スーパー等で買い物をしていただいた方に割引してもらい、市内事業所と連動した取り組みを進めている。その他、「バスの日」に、三重交通とPR。アンケートをとって、市民の方の意見を聞き、課題を洗い出し、改善につなげていきたい。

(豊福議長)

その他、皆様から何かございませんか。

(会長 林副市长)

皆さま本日はどうもありがとうございました。

本日の議事には入っておりませんが、本年度、国の補助事業等を活用し、「地域公共交通網形成計画」の策定を行う予定です。

本市においては、今後も、少子高齢化、人口減少が進んでいくことが想定されております。そのようななか、昨年度、国の地方創生の流れを受け、人口減少に歯止めをかけるための、尾鷲市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定いたしました。少子高齢化や人口減少社会が進むなかで、地域と地域を結ぶ公共交通は、重要な役割を担ってくると考えて

おり、今後を見据えた新たな社会状況等に対応していく必要があると思っております。

このため、地域の公共交通について、今後の人口減少社会に対応すべく、地域に果たす役割を明確にし、本市の公共交通に対する方向性等を定める計画を策定したいと考えております。

今後、策定に向けて動いていくなかで、委員の皆さまにもご議論いただきたく考えております。お忙しい所恐れ入りますが、ある程度議論ができる段階に進みましたら、次回会議の開催を行いたいと思っております。このため、本年度は例年に比べ、会議の開催回数が多くなると思いますが、どうぞよろしく願いいたします。

(豊福議長)

その他ございませんか。

無いようですので、以上をもちまして、本日の「平成28年度第1回尾鷲市地域公共交通活性化協議会」を閉会させていただきます。お疲れ様でした。